

1 南中野地区 3 弥生町五丁目町会

歴代会長

初代	卜部 芳太郎(昭和27年～昭和53年)	4代	気賀沢 美次(平成 4年～平成11年)
2代	小池 隆之介(昭和54年～昭和58年)	5代	立石 昌 (平成11年～平成18年)
3代	立石 八重子(昭和58年～平成 4年)		

現役員

町会長	渡部 金雄 (平成18年就任)				
副会長	寺谷 征雄 (兼 総務部長)	防火防災部長	犬塚 重暁		
	西野 洋一 (兼 会計)	防犯部長	寺島 実		
	長谷川 恭子 (兼 婦人部長)	交通部長	加藤 拓磨		
	林 泰洋 (兼 環境衛生部長)	会計 監査	戸引 和夫		
書記	矢吹 博 (兼 青少年部長)		盛田 弘国		
相談役	加藤 英喜 高瀬 詳治				
各副部長	矢吹 洋子 田口 若菜 村松 悦子 濱崎 美智子 鈴木 大輔				
	槌田 徹 境 淳一 米泉 武 木村 佳央 北山 博康				

町会の歩み

昭和7年10月1日に中野区が誕生し、同年 10 月25日には富士見町町会として発足しました。戦後、昭和21年に町会の解散が指令されましたが、昭和27年4月に講和条約が発効し町会の復活が認められると、いち早く富士見町会として活動を展開致しました。

自治活動を活発にする為に、多くの人々と話し合い、町会組織を改善し、まず居住環境の快適化を目指して活動を推進しました。

街頭の整備・下水道の完備、警察や消防の防犯・防火事業への協力、また環境衛生の浄化に努め、ゴミ処理方法の改善では居住者だけでなく、区の担当者とも力を合わせ多大なる成果をあげました。

昭和42年に新しい住居表示が施行され「弥生町五丁目町会」と町会名を変更し現在に至っております。

主な行事としては、新年会・ラジオ体操・敬老を祝う会・親睦バス旅行・餅つき大会等の企画・実施により、和気あいあいとした町の人々の交流が図れて連帯感が増しました。これらの行事は現在も続いており、町内の親子交流の場として親しまれております。また、氷川神社の祭礼には、昭和61年頃に神輿の購入・神輿倉の造営も出来て近隣の町会とも親しく交流を図っております。

資源回収やリサイクル活動に関しては、昭和50年頃より資源の活用を図る為に古紙の回収を町会あげて取り組んだり、ゴミの分別回収やプラスチックの分別も区内では他に先がけて行い、多くの成果をあげてきました。現在よりも一層の安全・安心で明るく住み良い街づくりを目指しております。

町会の特色

典型的な住宅街で商店等は殆ど無くサラリーマンの多い地域の為現役の若い役員が活躍しています。

また、一種住専地区としたため、今日でも緑の多い環境に恵まれた町会と言われています。

